

予算特別委員会報告

予算特別委員会の報告を行ないます。

本定例会において付託されました、議案第24号から議案第41号までの平成31年度上野原市一般会計予算、各特別会計予算及び病院事業会計予算、合わせて18件について、3月6日、8日及び11日の3日間にわたり慎重に審査した経過と結果を報告します。

平成31年度の予算は、一般会計、特別会計合わせて、歳入歳出それぞれ、172億5,867万9千円となり、前年度予算と比べると4,733万9千円、率にして0.3%の減少となりました。

一般会計では、歳入歳出それぞれ、100億7,031万3千円、前年度と比べると2億1,245万1千円、率にして2.1%の減少となりました。

歳入では、自主財源が38億5,805万9千円で、歳入全体の38.3%を占めています。

自主財源の主なものとしては、市税が31億3,207万5千円、分担金及び負担金が9,668万7千円、繰入金が2億7,293万3千円となり、自主財源全体で、前年度より447万3千円の減額となりました。

市税については、個人市民税と市たばこ税で前年度と比べ、4,144万5千円の減額ですが、法人市民税、固定資産税、軽自動車税、入湯税が前年度と比べ9,302万4千円増額することから、市税全体で前年度と比べ5,157万9千円の増額を見込んでいます。

一方、依存財源は、合計62億1,225万4千円で、歳入全体の61.7%を占めています。

依存財源の主なものでは、地方交付税の普通交付税が29億8,846万2千円、市債が6億9,520万円、国庫支出金が8億3,964万7千円、県支出金が5億8,750万1千円となり、依存財源全体では、前年度と比べ2億797万8千円、率にして3.2%の減少となりました。

次に、歳出を目的別に見ると、前年度と比べ減額した主なものとしては、土木費が1億2,283万4千円、率にして10.1%の減、農林水産業費が、9,222万8千円、率にして33.7%の減、公債費が8,856万4千円、率にして5.8%の減となりました。

一方、増額した主なものとしては、衛生費が1億4,202万7千円、率にして10.4%、民生費が2,091万4千円、率にして0.7%の増となっています。

一般会計歳出の性質別構成比を見ると、人件費、扶助費、公債費の義務的経費が47億9,587万5千円で、前年度と比べ合計で1億1,600万1千円の減額となっています。

また、投資的経費は、全体で7億8,741万9千円で、前年度と比べ3億185万円の減額となりました。

普通建設事業費のうち、単独事業費については、1億7,234万9千円の減額であり、(仮称)談合坂スマートインター関連事業等大型事業が、終了または収束に向かっていることが大きな要因となっています。

増額した主なものとしては、公共施設マネジメントの策定業務や総合戦略策定業務に伴う支援業務等としての物件費が6,611万9千円の増額、国民健康保険特別会計等、特別会計への繰出金が6,767万4千円の増額となっています。

平成31年度の一般会計に新規に計上しました主なものは、総務費では、ハザードマップ更新に係る経費や、高齢者運転免許証返納支援に係る経費、衛生費では、母子健康手帳アプリ導入に伴う総合福祉センター維持管理に係る経費、商工費では、マス釣場の指定管

理業務に係る経費、教育費では、学校施設長寿命化計画策定に係る経費などとなっています。

次に、特別会計については、16会計で、歳入歳出それぞれ、71億8,836万6千円、前年度と比べ1億6,511万2千円、率にして2.4%の増加となっています。

また、病院事業会計の収益的収支では、収入に対する不足額、8,686万9千円については、資本金を取り崩し、利益剰余金に振り替え、そのすべてで当年度欠損金を補てんするものです。

3日間にわたる課別審査や総括において、市の財政全般にわたり多くの質疑や提言がありました。その主なものについては、

- ・市が総合戦略において掲げている数値目標を達成するための予算編成とすべきである。
- ・自助、共助が重要視されている現況を踏まえ、自主防災会等、身近で実効性のある活動に予算をかけるべきである。
- ・市立病院における指定管理の期間が、10年から3年に変更になるが、撤退を考えての変更なのか。
- ・市立病院の指定管理料が大幅にアップするということだが、指定管理者が正規、非正規職員に支払っている給料はどの位になるのか。
- ・防犯灯のLED化については、大幅な電気料の削減につながっているため、その成果を広報等で市民に周知すべきである。
- ・職員の地域手当はなぜ平成27年度より支給されることとなったのか。
- ・市立図書館は、建物の構造上、遮音性が低い状況にあるが、教育施設という観点から、スペース活用の方法を考えてもらいたい。
- ・森林環境税の使い道については、有意義なものになるよう、今後は行政と議会が連携して、県や国に働きかける必要がある。
- ・神社等にあるトイレは観光客の訪問も考慮し、清掃の回数を増やした方がよいのではないか。
- ・結婚相談所については、他市を参考にしながら具体策を講じる必要がある。
- ・こども園と学童の延長時間について、利用者のニーズを把握し、それに見合った運営をしてもらいたい。
- ・いじめ問題について、学校単位での対策は当然であるが、教育委員会としての方針をしっかりと持ち、対応が後手に回る事の無いよう努められたい。

その他、各課全般にわたり多くの意見が出されました。

それらを踏まえ、採決した結果、「議案第24号 平成31年度上野原市一般会計予算」、「議案第25号 平成31年度上野原市国民健康保険特別会計予算」、「議案第26号 平成31年度上野原市後期高齢者医療特別会計予算」、「議案第27号 平成31年度上野原市介護保険特別会計予算」については、異議がありましたので、起立採決を行いました。

その結果、賛成多数で原案どおり可決すべきものと決定しました。

その他14議案については、異議なく全会一致で原案どおり可決すべきものと決定しました。

市当局におかれましては、大型事業も完了していく中、今後も市民のニーズを的確に把握し、自主財源の確保や経費の合理化・効率化を図り、限られた財源の有効活用と、健全な財政運営に努めていく必要があります。

委員会での意見等を市政運営に反映されることを強く要望し、予算特別委員会の報告とします。